

碩心

可認岳風吟學院詩吟社
發行會 會 會 會 會 會 會
川奈神 碩 心 會 會 會 會

7年8月 返葉大 (合)	現在 8月 地区 地区 計	員数 176名 205名 44名 425名	7年8月 根編 中	行 岸 村	(277号) 者 萃 者 愛
--------------------	---------------------------	-----------------------------------	-----------------	-------------	----------------------------

九月の行事予定

○第20回湘南地区吟道大会

日時・9月3日(日)10時より

会場・綾瀬文化会館

○第3回神奈川地区吟道大会

日時・9月17日(日)

会場・海老名文化会館

○碩心会秋期審査会

日時・9月24日(日)9時半受付

会場・逗子市立図書館ホール

冠省 (平成七年七月一日付)

おめでとうございます

宗匠 加藤 岳相

宗佑 沼田 岳雷

寒河江吟記 (その2)

右について多数の感動記が寄せられ、7月号に掲載できなかった方には申しわけありませんでした。今月号に掲載しましたので、思い出を懐かしみながらごらん下さい。

回想記

常任理事 中村 岳 郵

今回の懇親会の席で竹永先生が思い出話をされました。それは十年前の時、松井岳洋先生は総本部署理事を終え、そのまま夜行で皆さんの後を追ってこられた。自分は朝早く駅に出迎え、そして自宅に寄って休憩をとられたのですが、何のもてなしもできなかったのに、大変喜んで下さったことが、今でも忘れられないという話でした。

お話を聞きながら、私も十年前の事が、つい昨日のことのように思い出されました。あの時、書類の入ったカバンを持っていられたので、当然の事として持たせて頂きました。帰りのバスは、岳洋先生のそばで、時折会話を交し、窓外を眺めながら皆さんの歌を楽しんで聞いておりました。ふと、指名されたら何を歌おうか…先生の前だから…とビクビクしていました。幸いリーダーと目があわず、歌わずにすみ、ホッとすることが思い出されます。

帰宅後、岳洋先生宅に伺った時、カバンの件につき、丁寧なお礼をいわれ恐縮しました。

お茶をいただきながら寒河江のこと、高橋会長先生のこと等色々話されました。

二本松少年隊の碑については、鈴木岳楠先生のこと、少年隊の歴史、そして福島岳風会の佐藤会長先生のこと等、揮毫の件を含め、建立の際のお話を聞かせていただきました。

寒河江の皆さんと親しくなれたのも、岳洋先生のおかげです。お盆も近くなりました。早速お墓詣りをして報告いたします。

二本松は主人の故郷

大船A 山 口 夕 岳

一日目は快晴に恵まれ、寒河江では皆様の大歓迎をうけ、到れり尽くせりのおもてなしに感激いたしました。

二日目、楽しみにしていた蔵王は、風と雨の中、なんにも見る事ができず残念でした。二本松は主人の故郷で、少年隊のお墓には二度程来ているのですが、碩心会の皆様と碑の前での合吟は感動のひとつでした。

役員の皆様のお骨折りで何事もなく、無事帰宅、楽しい旅の思い出を振り返り、さくらんぼをつまんでいます。

水無月や吟声包む吟魂碑

青梅雨や蔵王は深き霧の中

出羽三山雪を残して麦の秋

出迎えに思わず手を振る

逗子A 田 中 明 岳

昨年吟行会の話が出たときから、十年前のサクランボの美味しかったこと、楽しさがよみがえり期待に胸をふくらませていました。当日は天気にもぐまれ、バスは一路山形県寒河江に向ってひた走る。車中では、千葉岳関先生、松井正岳先生の挨拶と六浦吟詠会、黒沢、長谷川、大川各先生方の紹介が行なわれる。合吟の練習から民謡、カラオケと切り替ったが、ガイド嬢も肝心な所では割り込みして話上手に、ガイドぶりを發揮してくれた。寒河江のインター出口で、吟友会の方が出迎えていられ思わず手を振ってしまった。今年のサクランボは豊年の当り年ということで見事な色に実り、それを見て童心に還り、樹に登ったりして、こんなに新鮮なもの今度いつ喰べられるかという満腹になるまで喰べてしまった。

懇親会は見事なシャンデリアのある会場で

寒河江吟友会会長、卯月岳儒先生の挨拶に始まり、両会より詩舞詩吟の交換あり、雑談ありで楽しい一時も盛大に終了。吟友会の皆様に見送られて天童温泉へ。7時より夕食会が開かれ、宴会は演歌カラオケから、フィナーレのダンスもあり、全員爆笑のうち終了した。

蔵王は霧と風が横から吹きつけるので下山、昼食のため立寄った遠刈田温泉の日本庭園はすばらしかった。大隣寺の墓前で「嗚呼二本松少年隊」の詩を全員で合吟し、全旅程が終了。一路逗子へ向って車中を楽しみながら、無事に逗子体育館前に到着した。

青春に若返った気分

沼間 祐 野 孝 岳

柔かった吟行会に参加させて頂き、心から感謝しております。お客さんの様な気分ですることができたのも、企画、立案して下さいました諸先生、幹事さんの並々ならぬご苦勞のおかげと、厚く御礼申しあげます。

サクランボの魅力：いくつ喰べたか分かりませんが、青春に若返った様な気分になりました。本当にありがとうございました。

吟行会に参加しての感想

逗子 A 舟渡 舟岳

今回、待望の寒河江吟友会との姉妹会提携十周年記念式と「さくらんぼ狩り」の吟行会に、体調を損ねていた後の私は不安でしたが幸にも当日は気分も爽快のうちに参加出来たことを諸々の人に感謝させていただきます。

当日は碩心会の方が日頃、心がけの良いためか快晴となりました。全員が揃って車中の人となり、旅行役員をなされる諸先生方の規律ある行動に感じ入って、斯かる指導者があってこそ後進の人に貢献出来るものと、有難く思いました。

逗子を出発して天童のホテルまで、延々10時間余かかりましたが、その間に有意義な行事がありました。

寒河江の吟魂碑の前で全員揃って鎮魂の吟「神州」を昇天せられた吟友に捧げました。続いてさくらんぼ狩りをして舌鼓を打ち、懇親会の会場に移りました。寒河江吟友会との姉妹提携十周年記念の行事は盛会のうちに終り、吟友会の皆様に見送られ、感無量のうちに宿泊先の「王将」ホテルに到着となる。

翌日は天童特産の将棋即売所や、山深い民家で伝統こけしを作る匠の話の聞いたり、先代の作品などを見学。一週に湧く山の泉で喉をうるおし、また山道をバスは走った。

蔵王へ向う登りで、坂を廻るたび霧が湧き、落葉松や熊笹は雨の中。山頂に着いたが視界は濃霧にさえぎられ、山の峻厳さに改めて心を打たれる。霧の中を麓に下りて安堵の胸を撫でおろすのであった。

今回の旅で印象に残ることは、バスのガイドさんの心豊かな、そして言葉の明確な語りで説明してくれたこと。最上川の上流付近では、映画にテレビに人を泣かせた「おしん物語」の発祥の処で、もの悲しげに語る一節は心に沁み透る想いで聞き、自分の生い立ちと同じように半世紀を振り返ってみるのでした。今回の旅行企画、並びに車中の行届いたお世話に全く頭の下る思いで敬意を表します。永く記憶に残る良い旅の想い出となります。旅先で次の句を染めた「のれん」を買いましたので、夏を涼しむ私です。

行く来るは誰が肌ふれん紅の花 芭蕉

雪の残る美しい月山

桜山 A 西村 昌岳

雪の残る美しい月山を正面に見て、寒河江インターに到着。寒河江の吟友の方々の温かいお出迎えを受け、ご厚志による乗用車に乗り替え、さくらんぼの実る畑の中を走り、吟魂碑の前に無事到着となりました。

バスの中ではカラオケ、おしゃべりとその合間、ガイドさんの名調子と何の事故もなくとても楽しく、またとても美味しい旅行を企画して下さいました先生方、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

根岸会長と綾部先生のご欠席が残念

逗子 B 磯村 朋岳

今回の旅行会は、第一日目からの好天に始まり、帰りの渋滞にも巻き込まれず、さくらんぼも十二分に喰べ、事故もなく本当に楽しかったです!!

残念なのは一つ、根岸会長、綾部先生のご欠席。お二人共去年から楽しみにしていらしたのに……寂しかったです。早くお元気になって、また一緒に楽しく旅行しましょうね。

雄大な自然の中で大合吟

逗子A 大前 妙 風

寒河江吟友会の皆様の人情あふれるお出迎えを受け感謝いたしました。そして周囲を山脈に囲まれ清流ゆたかな盆地地帯の畑中のサクランボが見事に実る様は心に残る風景でした。

平野山の木村岳風先生の胸像と、松井岳洋先生直筆の吟魂碑の前、みちのくの雄大な自然の中で両会員合吟で「神州」を吟じた時、なぜか胸が熱くなりました。そして懇親会場にて両会員の詩吟、祝舞と楽しいひとときを過ごしたのも、寒河江の皆様のおかげのお陰で、思い出の一頁となりました。両会の友好と益々の発展を祈ります。

楽しく有意義だったさくらんぼ狩

桜山 荒 木 笙 岳

梅雨の晴間の天候に恵まれ、寒河江吟友会との十周年記念交歓会も、皆様のお骨折りと心厚いおもてなしに、楽しい有意義なさくらんぼ狩を終えることができました。何一つ事故もなく一同帰還、ありがとうございました。

「二本松少年隊」の詩を吟じ涙

桜山A 石 月 翹 岳

大変嬉しい梅雨の晴間もあり、天童の町を一望できる素晴らしい所に泊りました。

二日目の朝、浅い眠りのためか、後頭部に重さを感じましたがロビーに出て見ると、皆様のそれぞれお元気なお顔、温かな触れ合いを嬉しく思い、二日目の旅を飾りたいと思えました。蔵王へ漸くたどり着きましたが天候悪化のため、山上湖のお釜は見られず残念でした。次に二本松少年隊のお墓へ詣るため、大隣寺を訪れました。石段を登りながら気がひきしまるのを覚えました。

墓碑を拝み、お祈りして胸迫る思いで百数十年の昔を振り返りますとき、義に殉じられた若人の尊く、儚ない命に言葉には尽くせない切々たるものが溢れてくるのでした。

その思いをこめて「嗚呼二本松少年隊」の吟を精一杯吟じて涙いたしました。どうぞ安らかに眠り下さいと念じながら、その場を去りバスに戻りました。

六浦吟詠会の方々お三人もご機嫌で、和氣藹々の楽しさでした。バスは夕暮れ、早くも

横浜に入り、ベイブリッジ、そしてつばさ橋の角度に交差するダイヤを散りばめたような、夜景の美しさは夢の世界にいるようでした。お陰様にて予定より早く逗子の体育館前に到着。皆様無事でありましたことを喜びあい家路に着きました。

忘れられないさくらんぼ

銀詠 前 野 玲 風

吟行会に参加させていただき、二日間楽しく過させて戴きました。とりたてのさくらんぼの甘さ、懇親会での山盛りのさくらんぼを思い出します。企画の先生、皆様有難う。

吟を習っていてよかった

逗子A 渡 辺 信 泉

この度吟行会に同行させていただき、諸先生、先輩の皆様は厚く御礼申し上げます。

サクランボ狩、将棋の里、こけし部落の見学、二本松少年隊の墓の前での合吟は感無量でした。木村岳風先生、松井岳洋先生の偉大な業績に唯々感動いたしました。本当に楽しい旅行で、吟を習っていてよかったと思います。駆け出しの私ですが、今後共よろしく。

十年來の親交に頭の下がる思い

真澄 水上昌岳

碩心の平成2年12月号に載っていた、寒河江吟友会との交流記事に目を通して、10年來の親交を深められたことに、頭の下がる思いでした。この度も吟友会の心温まる、おもてなしを受けて心から御礼申し上げます。碩心会の皆様には主人共々、お世話になりました。

「沢山採って喰べてな」

真澄 福本香風

山形もこんなに暑いのかしらと汗をかく。何年と生きぬいて来た樹でしょうか、鈴なりに身をつけたサクランボが目の前に出迎えてくれた。寒河江の自然に溶け込んだ一日。果樹園のおじさんは「沢山採って喰べてなア」と言ってくれた。うれしいッワー美味しいッ沢山頂戴して、ご馳走様でした。

(俳句) 真澄 小峰恵風

さくらんぼ心にしみる国訛り

(俳句) 真澄 小金智風

吟道でこころ通わす山形路

吟道の仲をとりもつサクランボ

緑深い景観の旅

真澄 西川幸風

花の山形、紅葉の天童……大きな歌声が聞えて来そうな幻想に揺られながら、緑の深い景観の旅でした。

今回の旅に際しましてご尽力下さいました諸先生、会員の方々に厚く御礼申し上げます。

心をこめて捧げた吟聞えましたか

真澄 小金智風

サクランボ喰べた。楽しかった懇親会。寒河江の皆さんありがとう。将棋の駒買った。蔵王のお釜はかくれて見えず。こけしの作り方見た。二本松少年隊の皆さんへ心をこめて捧げた吟、聞えましたか。楽しい旅でした。

吟行会の想い出ひとこと

真澄 高橋之風

寒河江吟友会の皆様と、心温まるひとときを過ごすことが出来、吟を通じて遠くの方々と語り。サクランボの甘酸っぱい香り、ガイドさんの委しくて楽しい史跡案内と、想い出多い旅でした。ありがとう!!

吟魂碑建立のご苦勞を偲ぶ

真澄 服部翠風

昨日までの雲り空は何処へやら、とても晴れやかな気分で一路山形へ進む。やがて広大な田園風景が広がる。寒河江の吟魂碑の前で建碑当時の様子を聞き、そのご苦勞には頭の下がる思いがいたしました。

一番楽しみなサクランボ狩りとなり、皆とても楽しそう。童心に返って夢中でした。赤き実を喜々と摘む我幼児のごとし

交流会も盛大に行なわれ、親交の深さを改めて認識いたしました。

心なごむ楽しい旅

真澄 中司裕子

寒河江吟友会の方々の温かいおもてなしとさくらんぼの可愛らしさに、心のなごむ楽しい旅を二日、過ごさせていただきました。

(短歌) 真澄 星野輝岳

寒河江の地に建つ吟魂の碑の偉容

心に銘じ道に励まん

終戦五十周年に寄せて

獄中作

山下奉文

天日焼くが如し瘴癘しやうれいの地

討匪征寂一春秋

殉忠の勇士幾万人

卒然として停戦の大詔を拝す

謹んで受けて戈ほこを捨て血涙下る

聖慮の深遠心腸に徹す

野山わけ集まる兵士十余万

歸りてなれよ国の柱と

長恨限り無し比島の空

吾七生を誓って祖州を興さん

終戦後、フィリッピン、モンテンルパには、

多数の日本人戦犯が処刑の日を待たされてい

た。今日殺されるか、明日殺されるか、死を

待つ生活の中で、国に残した父母、妻や子の

面影を偲んでは、涙、涙の日々でした。

講和条約が近々結ばれるとのことで「もし

かして祖国日本へ帰れるかも…」の淡い期待

も空しく、昭和26年1月29日、何名かが異国

の地で処刑されました。

こうした悲惨な結果をもたらせたあの戦争、私達はこの人達の怨念の声を聞きながら、再び戦争という忌まわしい悲劇を繰り返さぬよう、平和を求めてゆきたいと思います。

モンテンルパの夜は更けて

募る思いやるせない

遠い故郷偲びつつ

涙に曇る月影に

やさしい母の夢をみる

モンテンルパに朝がくりや

昇る心の太陽を

胸に抱いて今日もまた

強く生きよう倒れまい

日本の土を踏むまでは

今年終戦五十周年…。私はあの終戦の八月十五日のことが、今でもよみがえってきま

す。当時私は郵便局の事務員として働いてい

ましたが、その頃テレビ等はなく、外に出て

隣の家から流れる天皇陛下の終戦詔勅を聞

き、感無量でした。あの日も蟬しぐれの聞え

る、暑い夏の日でした。(岳愛 記)

逗葉逍遙

宇都宮 徳 岳 作

遙かに観る富岳湘洋に映じ

逗葉は温和にして萬樹芳し

北は古都に接して史蹟多く

南は景勝に通じて帆檣はんしよう簇る

離宮の聖上陰徳を垂たれ

当地の居人暗香を慕う

同好杯を傾け詩舞に興じ

夕の渚を徘徊すれば吟腸動く

(入会)

762 菊地君子 逗子市逗子七―十三―三

(逗子A) ☎〇四六八―七―一二七〇

763 角田すみ江 葉山町一色二二六四

(一色A) ☎〇四六八―七六―一五一七

(退会)

696 山下雅子(逗子A)

昨夜は東京下町の夏の風物詩「隅田川花火大会」がテレビに映し出され、今日は又、甲子園神奈川地区大会最終日で、日大藤沢の優勝の様子が映し出された。まさに夏真っ盛り。ひとときの夏休み…心と体を休めましょう。